

Survey
Techno-Science
Corporation

STS

受光器をスライドして
ピタッとかたん位置決め
比較高低差が一目でわかるスケール棒

受光器スライド式スケール棒 SIB240

- 受光器付属品のクランプでは難しかった、スケール棒上での受光器位置決めを簡単にスライドさせて決められます。
- 受光器をスライドして、比較高低差測定が簡単にできます。
- 裏面は1mm単位の目盛があるので、バカ棒としても使用可能です。

いいね!
これは便利

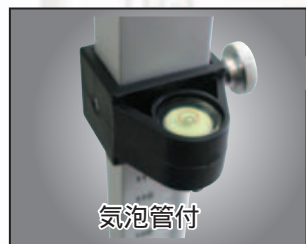
スライド部を受光位置まで移動するだけで受光器クランプをいちいち外さなくてよいので、受光位置でピタリと位置決めできます。クランプを締める時のズレがなく、とてもスムーズです。



受光器のロッドクランプを外さなくてもスライドできます



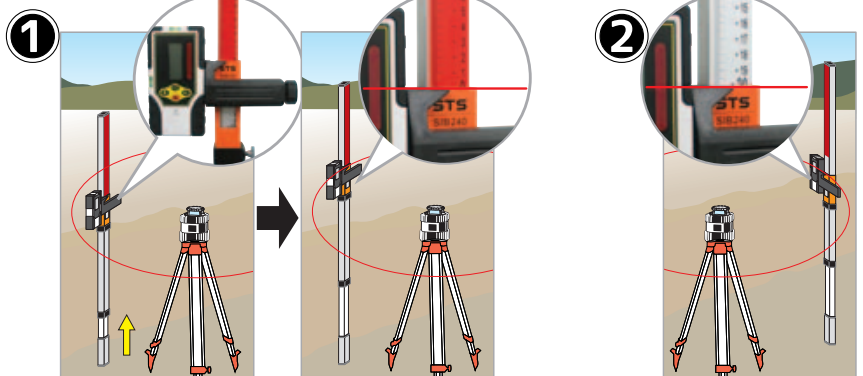
裏面(1mm目盛)



気泡管付

気泡管付でスケール棒を垂直に保持できます

比較高低差測定



スケール棒の2段目に表示されているゼロセット位置に、受光器をセットしたスライド部を合わせます。基準とする任意の場所にスケール棒を設置し、2段目を上に伸ばしゼロセット位置にて受光できる高さで2段目を固定します。

スケール棒を他の位置に設置し、スライド部のみを上下させて受光位置を探します。先に受光させた基準位置との比較高低差がわかります。(上図の場合、 の位置よりも の位置の方が20cm高い事がわかります)

SIB240 主な仕様

表目盛	1段目：高さ目盛 2段目：比高目盛(ともに1mm単位)
裏目盛	高さ目盛(1mm単位)
全縮	1310mm
全長	2400mm
測定範囲	表面 80cm ~ 190cm 2段目スライド幅 ±50cm 裏面 ~ 2400mm
スライド部幅	39mm
気泡管感度	120 /2mm
重量	788g

収納ナイロン袋付



スライド部に受光器のロッドクランプを
はさんで固定します。
メーカーを問わず、各種受光器が取付可能
です。

(SIB240) 品番: 2-SIB240

標準小売価格 **¥11,500** (税別)

記載した仕様および外観は、製品改良等により予告なしに変更することがあります。



JSIMA
Japan Surveying Instruments Manufacturers' Association
"このマークは日本測量機器工業会の
シンボルマークです"

Survey Techno-Science
STS株式会社

本社 〒468-0003 名古屋市天白区鴻の巣1丁目1603番地
TEL: 052-847-8880(代) FAX: 052-847-8883

<http://www.sts-s.co.jp> E-mail: sts-s@sts-s.co.jp